

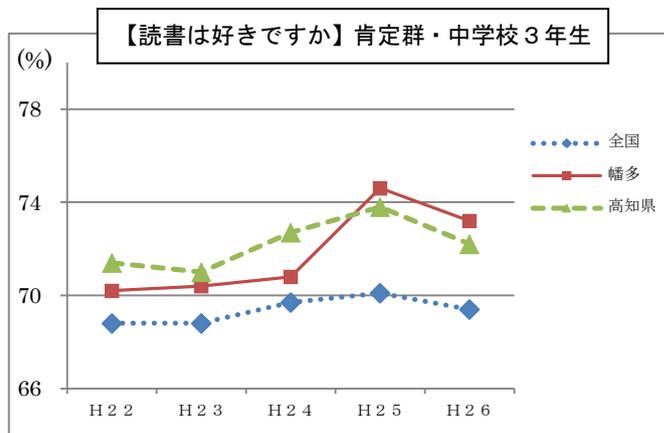
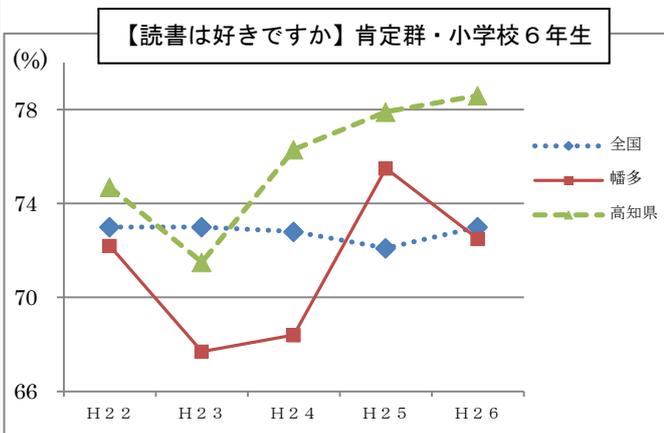


社会教育便り

みなさんは本が好きですか？

西部教育事務所では、一昨年度から4月23日の子ども読書の日を「大切な人へ本を贈ろう」、本年度はこの日に加え「毎月23日に本を読もう」とし、啓発活動を行ってきました。幡多管内の図書館や公民館、学校の図書室にもリーフレットを置いていただいています。本を読むことが好きな子どもを増やすには、家族と一緒に本を読んだり、図書館に足を運びいろいろな本を借りたりなどできることはたくさんあると思います。幡多の子どもたちが本を好きになり、本を読む教育風土が幡多に根付けば、どんなにかステキなことでしょう。そんな一助になればと思っています。

全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より



※H23年度の全国値は調査値がないため、H22年度の値を転用

読書好きな子どもを育てるにはどんなことをすればよいでしょうか？



大切な人へ本を贈ろう

4月23日の「子ども読書の日」に大切な人（子どもから親、親から子どもなど）に本を贈ってみませんか。



読み聞かせをしよう

ボランティア、PTAなどを活用し、読み聞かせをしてみませんか。

毎月23日に本を読もう

子ども読書の日になんで、毎月23日を家族と一緒に本を読む日にしませんか。

イベント・行事を活用しよう

ビブリオバトル（知的書評合戦、本の紹介コミュニケーションゲーム）、音読大会、辞書引き大会、読書標語などを活用してみませんか。

読書の時間を作ろう

学校や家庭で本を読む時間を設定することで、本にふれる機会が増えるはず。是非、本を読む時間を作ってみませんか。



図書館へ行こう

学校図書館だけでなく、市町村の図書館にも本はたくさんあります。いろいろな本を借りてみてはいかがでしょうか。

幡多地区PTA研究大会（土佐清水市大会）

12月14日（日）土佐清水市立清水小学校体育館で約190名の参加のもと、幡多地区PTA研究大会（土佐清水市大会）が行われました。表彰行事、実践発表、子どもたちの現状と取り組み、小中学生による足摺太鼓のアトラクションと続き、高知県学校図書館協議会顧問の安藤厚子先生に読書の大切さについて講演していただきました。今回実践発表されたPTA活動や読書活動等を是非、自校に持ち帰っていただき、今後のPTA活動に活用していただきたいと思います。

—実践発表—

- ①幡P女性役員の会より
「子どもたちの安全・安心な生活のために」
- ②中村小学校PTAより
「学校が元気になるPTA活動～地域・家庭・学校みんなで～」
- ③大島小学校PTAより
「高め合うPTA活動を目指して」
- ④清水中学校PTAより
「清水中学校PTAの取り組み」



幡P女性役員の会



大島小学校PTA



中村小学校PTA



清水中学校PTA

—表彰行事—

今回は、幡多地区小中学校PTA連合会の活動に功績のあった5名の方々が表彰されました。
受賞されましたことに心からお喜び申し上げます。



中村西中学校PTA
島田 美智恵氏



中村小学校PTA
安田 美代子氏



咸陽小学校PTA
上甲 善徳氏



大方中学校PTA
津野 早苗氏



大月中学校PTA
吉松 徳重氏（代理中野氏）

—アトラクション（足摺太鼓）—

勇壮な太鼓を披露していただきました。子どもたちの一生懸命な姿は見る者の心を打ちます。



講演

「子どもと本と学びをつなぐ—すてきな出会い—」

講師 高知県学校図書館協議会顧問 安藤厚子先生

講演の中で、子どもたちが本を好きになるためには、3つの条件が必要であることを教えていただきました。

その3つの条件とは、

- ①本を読む時間を作ること
- ②子どものそばに本があること
- ③本を渡す（贈る）人がいること

※本を好きになるためには、家庭の影響力が大きいと感じました。

是非、家庭でもこの3つの条件を整えてみてください。



西部教育事務所から

- (1) 幡多の子どもたちの現状
○知・徳・体・家庭学習の状況について
- (2) 今後の取り組み
①家庭学習の大切さ（予習・授業・復習のサイクル）
②家庭で取り組む「高知の道徳」
③生活体験・自然体験の効果
- (3) 今日の課題
○スマートフォンによるトラブル



※子どもと関わることや家庭でルールを決めることが大切です。PTAでもこれらについて話し合う場を設定するといいですね。

